

北海道相談支援従事者研修〔専門コース別：意思決定支援〕 シラバス

研修全体として、法改正を踏まえ次の意思決定支援の推進の考え方を盛り込み理解を深めるものとする。

- ・利用者が自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、利用者の意思決定の支援に配慮するよう努めること
- ・サービス等利用計画・個別支援計画の作成にあたっては、利用者の自己決定の尊重及び意思決定の支援に配慮すること
- ・適切に意思決定支援を行うため、当該利用者の意思及び選好並びに判断能力等について丁寧に把握すること
- ・サービス担当者会議、個別支援会議においては利用者本人が参加するものとし、当該利用者の生活に対する意向等を改めて確認すること

【講義日程】

時 間	内 容
30 分	【講義 1】 実践現場と意思決定支援
60 分	【講義 2】 意思決定支援とは
30 分	【講義 3】 ガイドラインにみる意思決定支援

【演習日程】

時 間	内 容
9:35～10:15 (40 分)	【演習 1】 実践現場と意思決定支援
10:15～13:41 (146 分)	【演習 2】 意思決定支援の実際①（意思決定支援に向けた支援①）
13:41～16:05 (144 分)	【演習 3】 意思決定支援の実際②（意思決定支援に向けた支援②） （意思決定支援の情報集と記録）

※上記の詳細及び時間割は、変更となる場合があります。

必須項目	項目	内容
○	1 教科名	【講義 1・演習 1】 実践現場と意思決定支援
○	2 国が定める標準カリキュラム上の科目名	意思決定の必要性（講義）
	3 関連する研修目標	①意思決定支援に関する実践の振り返りと省察
○	4 担当講師名	日置 真世
○	5 担当講師略歴	別紙 掲載
○	6 時間数	70分
○	7 到達目標	意思決定支援について、具体的な事例の検討を通じて、その必要性を理解する
○	8 教科の概要	・意思決定支援の必要性について実践を振り返る中で理解する ・意思決定支援に関わる事例を振り返り、課題等を考察する
○	9 授業方法	講義及び演習（講義 e ラーニング）
○	10 授業計画	・実践現場における意思決定支援の必要性（講義、30分） ・意思決定支援に関わる事例の振り返りと考察（演習、40分）
	11 準備学習	
	12 教科書・参考書	
	13 注意事項	
	14 参照リンク	

必須項目	項目	内容
○	1 教科名	【講義2】 意思決定支援とは
○	2 国が定める標準カリキュラム上の科目名	意思決定支援とは（講義）
	3 関連する研修目標	②意思決定支援の基本的な考え方
○	4 担当講師名	大友 愛美
○	5 担当講師略歴	別紙 掲載
○	6 時間数	60分
○	7 到達目標	意思決定支援における定義や基本的考え方を理解する
○	8 教科の概要	意思決定支援の基本的な考え方、意思決定支援の枠組み等を理解する
○	9 授業方法	講義（eラーニング）
○	10 授業計画	障害福祉実践と意思決定支援の歴史、意思決定支援の基本的な考え方、障害特性と意思決定支援の実際、意思決定支援の枠組み等の解説
	11 準備学習	
	12 教科書・参考書	
	13 注意事項	
	14 参照リンク	

必須項目	項目	内容
○	1 教科名	【講義3】 ガイドラインにみる意思決定支援
○	2 国が定める標準カリキュラム上の科目名	意思決定支援ガイドラインの構造（講義）
	3 関連する研修目標	②意思決定支援の基本的な考え方
○	4 担当講師名	大久保 薫
○	5 担当講師略歴	別紙 掲載
○	6 時間数	30分（eラーニング）
○	7 到達目標	・ 障害福祉サービスに関する意思決定支援ガイドラインの概要を理解する ・ 他の意思決定支援ガイドラインとの関係性を理解する
○	8 教科の概要	障害福祉サービスに関する意思決定支援ガイドラインの概要と様々な意思決定支援ガイドラインの概要を理解する
○	9 授業方法	講義
○	10 授業計画	意思決定支援に関する日本国内及び国際的な動きと意思決定支援ガイドラインの解説
	11 準備学習	
	12 教科書・参考書	
	13 注意事項	
	14 参照リンク	

必須項目	項目	内容
○	1 教科名	【演習 2】 意思決定支援の実際①
○	2 国が定める標準カリキュラム上の科目名	意思決定に向けた支援プロセス①②（演習）
	3 関連する研修目標	③意思決定支援のプロセスとポイント
○	4 担当講師名	日置真世、大友愛美、大久保薫
○	5 担当講師略歴	別紙 掲載
○	6 時間数	1 4 6 分
○	7 到達目標	意思決定支援を実践する際のプロセス及びその留意点を理解する
○	8 教科の概要	事例にもとづき、 ・ 選好や価値観を発見・収集するための本人等との関わりを理解する ・ 意思決定支援会議などのガイドラインの実際と課題について理解する
○	9 授業方法	演習
○	10 授業計画	・ 事例紹介 ・ 全体的なアセスメント及び意思決定支援に関わるアセスメント
	11 準備学習	
	12 教科書・参考書	
	13 注意事項	
	14 参照リンク	

必須項目	項目	内容
○	1 教科名	【演習3】 意思決定支援の実際②
○	2 国が定める標準カリキュラム上の科目名	意思決定に向けた支援プロセス①②（演習） 意思決定支援上の情報収集と記録化（演習）
	3 関連する研修目標	③意思決定支援のプロセスとポイント
○	4 担当講師名	日置真世、大友愛美、大久保薫
○	5 担当講師略歴	別紙 掲載
○	6 時間数	144分
○	7 到達目標	・ 支援付き意思決定や代理代行決定等について理解し、実際の意思決定支援の実践上の課題を理解する ・ 意思決定を支援するための情報収集及び記録化の必要性及びその技術を理解する
○	8 教科の概要	事例にもとづき、 ・ 意思決定能力アセスメントのポイントについて理解する ・ 意思と選好に基づく最善の解釈（意思推定）の実際について理解する ・ 代理代行決定や支援付き意思決定の限界について理解する ・ ロールプレイ等を通じて意思決定支援の具体的な展開について理解する
○	9 授業方法	演習
○	10 授業計画	・ アセスメントのまとめ ・ 意思決定支援の方向性と具体的支援の検討 ・ 本人を含めた会議のロールプレイ ・ 全体での意見交換 ・ 研修全体のまとめ
	11 準備学習	
	12 教科書・参考書	
	13 注意事項	
	14 参照リンク	